

施策マネジメントシート（令和 5 年度目標達成度評価）

第2次 総合計画 体系	政策 No.	1	政策名	住みたい!と思う 笑顔が集まるキレイなまち	
	施策 No.	4	施策名	下水処理の充実	
施策主管課	下水道課			施策関係課名	環境課・都市計画課

1 施策の目的（①対象③意図）と指標（②対象指標④成果指標）等の推移

①対象 (この施策は、誰、何を対象としているのか)			③意図 (この施策によって対象をどう変えるのか)					
市民			公用水域の水質が保全され、衛生的な暮らしができる					
④成果指標 (意図の達成度を表す指標)		単位	数値区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	成果指標の達成状況及び要因
1	下水道普及率	%	目標値	67.2	68.5	69.8	71.1	1) 未達成。整備に伴い実績値は上昇しているが目標値には未達。計画区域の見直しにより縮小された下水道区域にあわせた目標値の下方修正が必要となる。 2) 未達成。前年比で1.6%実績値が低下しているが、整備に伴い供用開始人口が増加したことなどが要因として考えられる。 3) 未達成。整備に伴う供用開始人口の増加を人口減少が上回っており、汚水処理人口（供用人口＋浄化槽供用人口）は減少していることから、結果として普及率は低下しているものと考えられる。 4) 達成。実績は横ばいで、目標値を上回っている。近年の開発で市営浄化槽の設置が想定より進んでいることなどが要因の一つとして考えられる。
			実績値	55.5	56.4	66.6	66.6	
			達成率	82.6%	82.3%			
2	下水道水洗化率	%	目標値	76.0	77.4	78.8	80.2	
			実績値	72.9	71.3			
			達成率	95.9%	92.1%			
3	汚水処理人口普及率	%	目標値	87.6	89.1	90.6	92.1	
			実績値	82.4	82.2	86.6	86.6	
			達成率	94.1%	92.3%			
4	汚水処理人口水洗化率	%	目標値	87.2	87.9	88.6	89.3	
			実績値	84.8	84.8			
			達成率	103.0%	102.2%			
5			目標値					
			実績値					
			達成率					

2 施策（基本事業）の振り返り

基本事業	(施策の目標達成に向けて、どのように取り組んだか。)
下水道環境の整備	・生活環境の改善と公用水域の保全を目的として、下水道事業、市営浄化槽事業による整備を行った。 ・下水道事業については小城処理区を中心に整備を行い、市営浄化槽事業については計画の100基/年に対して126基の設置を行い、整備を加速させた。
下水道の水洗化向上	・戸別訪問による下水道への接続促進を行い、併せて未加入、未接続者リストを作成し、次年度への情報反映を行うと共に、接続されない原因の情報収集を行った。特に戸別訪問については、これまで平均200件/年に対して5倍の約1,000件の訪問を行い、接続促進の強化を図った。 ・市内小学校4年生を対象とした下水道教室や、牛津産業祭りでの啓発活動及びゆめぷらっと小城での個別相談会を行い、水洗化向上に努めた。
安定した下水道事業の運営及び経営	・下水道企業会計健全化のため、令和3年度から経営戦略・使用料の改定検討に着手し、経営の状況を分析し、使用料の約20%増額改定を令和5年5月に行った。 ・既存施設の維持管理を行うと共に、令和4年から着手したストックマネジメント事業計画について、5年度は実施方針の策定まで進めた。

3 施策の課題（基本計画で掲げた施策の「現況と課題」、成果指標の達成状況を踏まえて、次年度以降に向けた施策の課題）

・国が掲げる下水道10年概成を考慮した区域の見直しを実施しており、令和8年度から9年度までに下水道の整備を完了させる必要がある。令和5年度時点で既に整備に関する国庫補助金の縮減が始まっており、今後、整備量に応じた予算の確保が重要となる。
・下水道事業の健全経営を行なうため、令和5年5月に下水道使用料の増額改定を行ったが、改定を行っても経費回収率が不足している。また接続率の向上に於いて戸別訪問の強化に取り組んでいる。
・維持管理において下水道区域で、処理場やマンホールポンプなど20年以上経過した機器が増加しており、現在是对処療法的に修繕対応を行っている。計画的な更新を実施するためストックマネジメント事業に着手しており、早期に計画を進めていく必要がある。
・天山地区共同衛生処理場の老朽化から改修計画がある中で、多額のコスト投資が市の財政事情に大きく影響を与えることが懸念されるため、下水道事業と連携を図れる点があれば共同し、効率的な改修計画を進めていく必要がある。

4 今後の取り組み（課題解決に向けた今後の取り組みの方向性・内容等）

・整備完了目標である令和8から9年度までに、事業を完了させるために予算確保を行うと共に、工事担当者の人材育成と確保を行う。
・下水道経営の安定化のため、定期的に経営戦略の見直しと料金改定を行い経費回収率を上げることが重要となる。 また、接続促進には戸別訪問の強化を今後も維持し、経営の健全化を図る。
・適切な維持管理を行うために、ストックマネジメント事業を策定し、早期に調査・点検・更新工事を実施していく。